



発行責任者
西川 晃二

【校長室より】

秋の実り そして収穫へ

2学期が始まります。

生徒にとっては正念場の学期です。1年間で最も長く、また、諸行事も目白押しで、実りの2学期とも言えます。実りの後の収穫が豊かであるために、生徒にはこの学期を一生懸命にがんばらせたいと思います。また、その実りを保証するために、教員も懸命な指導を実践しなければならないと自覚するところです。

学校教育では、生徒個々が「生きる力をつける」ことが、大きなテーマです。高校教育においては、生徒の進路保証が最優先であり、特に進学校では学力をつけることは基本要件と考えます。しかし、「人」は社会に出てからが勝負ゆえ、高校時代は不問であるともよく言われます。それは、学力(知力)のみについては、そう言える場合もあるかもしれませんが、高校時代の学習指導、生活指導全般にわたる人間教育、広い意味での「学ぶ力」の育成こそが、進路保証につながるのです。単に知力をつける、偏差値を高めるだけが学力ではありません。学力の定義については世間ではかまびすしく議論されていますが、私は、学力こそ先に述べた「生きる力」「学ぶ力」であると思っています。また、言い換えると問題解決能力とも言えます。「なぜ?」「どうして?」「どのように?」「君はどう考える?」に、いかに応えることができるかが、真の意味での学力＝問題解決能力ではないでしょうか。

さて、本校の中村陽介教諭が文部科学省の英語研修派遣で7月から来年の1月まで、米国アイオワ州立大学で学んでいます。彼から「IOWA通信」が届きました。渡航後すぐ実施された研修の日々を報告しているものです。上記内容に関わる場所ですから、その一部を転載したいと思います。

宿題も毎日たくさん出ましたが、前半は英文を読んで「どう思うか?」「なぜそう思うのか?」という感じで、問題を解くようなものはまったくありません。そうすると次の授業では、当然ながら先生から「正解はこれ!」のような確認はなく「どう思うか?」、「なぜそう思うのか?」についてのディスカッション。また授業中に出るこちらの質問に対しても、先生が答える前にまず“What do you think?”と返されることが多々ありました。分からないから聞いているのに…という感じがしますが、「これはこうだ」と言うのではなく、こちらに考えさせて自分で答えを出させています。授業の内容は様々ですが共通して求められるのは、人の考えを知り、自分の意見をまとめ、それを適切な方法で表現することでした。それは「英語だから」ではなく社会人として当たり前のことですが、今回の授業を受けて改めてその奥深さに触れたような気がします。

そうして先日、語学研修期間は無事に(?)終了しました。英語に追われ続けた3週間でしたが、内容は非常に面白く納得させられることばかりでした。英語の教員をしながら、それでも普段使わない脳みそを使ったような感じで、確かに疲労感もありましたが、終わった時の充実感は心地よいものでした。

(「IOWA通信」より)

以上が「IOWA通信」ですが、「学び」の本質に触れた内容ではないかと思い、紹介させていただきました。

今後、五高生に真の意味の学力を、問題解決能力を、一層身につけさせるために、教職員一同邁進したいと思っています。

オープンスクール（7月24日）

No. 2

7月24日（火）に本校でオープンスクールを実施しました。島内・外から約250名の中学生・保護者・先生方に参加していただきました。ビデオによる学校紹介・入試説明の後、体験授業・施設見学、進路指導部からの説明、生徒会指導部からの部活動紹介を実施いたしました。また、今年度から1・2年生ボランティアを募り、高校生にもオープンスクールの運営を手伝ってもらいました。はじめての取組となった「先輩と語ろう」では、中学生と高校生の座談会となり、とても好評でした。ぜひ意欲ある中学生の皆様の入学を待っています。

オープンスクールボランティア 生徒感想

私が今回オープンスクールボランティアに参加してまず感じたことは、「裏でこんなに多くの人が動いているんだ」ということです。どんな行事でも、裏で働いている人たちがいなければ、スムーズにいかないと思います。

今回のボランティアで、私は案内係をしました。体験授業の際の教室への移動の手伝いや迷っている人の誘導などが主な仕事です。中学生に声をかけるのはとても緊張したし、ましてや保護者の方へは言葉遣いも気をつけなければならないので、うまく声をかけることができませんでした。ある保護者の方から、「自分の子どもが体験授業を受けている教室を」と尋ねられたとき、名簿を取りに行き、名前を確認し、教室まで案内するという動きをとりましたが、事前にもう少し準備をしておけばスムーズにできたのではないかと思います。

「案内係」以外の仕事も多くありました。特に「先輩係」は今年初めての取組である「先輩と語ろう」での司会進行をはじめ、中学生に、受験から日常生活について自分の体験をもとに話をしたり、質問を受けたりしました。中学生にわかりやすく説明することに苦労したのと同時に、自分の中学時代を振り返ることができ、初心に戻るいい機会になりました。

今回の体験は大変貴重で、ボランティアに参加できてとても良かったです。私たちが中学3年生のときに持っていた期待や不安などを思い出したり、裏で支える人の大変さや大切さを感じることができるので、来年度もこのようなボランティアを呼びかけられるのであれば、より多くの生徒に参加してもらいたいと思います。

「3年生学習合宿」（7月30日～8月5日）

3年生は7月30日（月）から8月5日（日）まで、6泊7日の日程で学習合宿を実施しました。今年から長崎市での実施となりました。島外であることによる移動時間増と費用負担が懸念されましたが、生徒の感想に「全員が同じ学習ホールで一斉学習ができてよかった。」とあるように、ひとつの場所で自学を行うことでクラス・学年団の連帯感がより高まった合宿だったと思います。

当初は生徒も落ち着かず、先生方から何度も注意をされる状態でした。しかし、自学の開始30分前から学習ホールで自学する生徒が何人もでてきたこと、その姿をみて自分も本気になってやらなければならないと思う生徒が増えたこと、他人の学習方法をみて自分の学習方法はこれではいけないと思い改善を試みた生徒がいたこと、これらのことがうまく絡み合っ、次第に学習に真剣みが増し、それが引き締まった顔の表情や、学習の姿勢のよさにもつながっていきました。また、自学終了後にさまざまな先生方からの激励の言葉をいただき、それが生徒への励みとなってさらなるモチベーションアップにつながりました。



合宿は終わりましたが、受験勉強はまだこれからです。この学習で得たことを無駄にしないように今後の学習につなげてください。苦しいときは周りを見て、「まだやれる！」という強い気持ちを持って、再度学習に取り組んでほしいと思います。

今回の合宿は保護者の皆様やホテルの方々など、多くの方のご協力が無事に終了することができました。PTAの方々からの差し入れのアイスクリームもおいしく頂きました。どうもありがとうございました。この合宿を決して無駄にさせないよう、今後の学習にも真摯に取り組ませ、来年3月には良い結果が報告できるよう頑張りたいと思います。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。



五高祭（9月2日）バザーのお知らせ

○リサイクル品バザー 10:00～14:00

○飲料バザー 9:00～15:00

○食物バザー 11:00～13:30

多目的教室2A・2B

洋の広場

セミナーハウス

（昨年と場所が異なります）

スポーツコースオープンスクール (7月31日)

7月31日(火)に普通科スポーツコースの第1回体験入学を実施しました。まず始めに校長あいさつそして教務よりコースの説明を行いました。その後、指定3競技(柔道・剣道・陸上)の実技講習会を行いました。指定3競技合わせて、五島市内中学生86名と島外中学生8名の計94名の中学生の参加がありました。

陸上は、ナインドットスポーツ塾(佐世保)の田端健児氏を講師として、まず走るための基本的な理論を学び、そしてグラウンドでは速く走るためにどうやって重心を移動させるかということを中心にご指導いただきました。

柔道は、大阪体育大学柔道部監督の村元辰寛先生を講師にお招きして、実技指導を行っていただきました。このような貴重な体験の積み重ねで選手は日々成長していると感じています。

剣道は、長崎県警察名誉師範の馬場武典先生を講師として、審判法を中心にご指導をしていただきました。普段学ぶことのできない審判法を学ぶことができ、いつもと違う側面から競技を見つめることができよい経験となりました。

地域を始めとして多くの方々のご協力でこのような機会を得ることができ、スポーツコースの指定3競技がますます勢いと力をつけ、来年の2013北部九州インターハイ(柔道は福岡市開催)、2年後の2014長崎がんばらんば国体で活躍する立派な選手を輩出できるものと確信しております。

平和学習(8月9日)

「8月9日の長崎原爆の日に際して～戦争と平和を考える～」というテーマのもと平和学習を行いました。

放送部の進行で、紙芝居形式の資料を見ながら「被爆者からの伝言」を聴き、終了後、長崎平和宣言(平成23年度分)を読み、原爆の被害、その後の世界の動きについて理解を深めることができました。「平和とは何か。自分たちにできることは何か。」を考えるよい機会になったと思います。

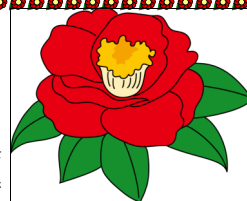
原爆投下の11時2分には各教室で1分間の黙祷をささげ、最後に「五高平和宣言」を確認し、平和の尊さについて思いを新たにすることができました。



第109回石城会総会(18日)

8月18日(土)、観光ビル「はたなか」において、第109回石城会総会と懇親会が100名を越える同窓生と本校職員出席のもとに開催されました。懇親会は卒業後

10年目の同窓生が幹事で、五島市職員の谷川様を中心にチケット販売・会場準備・進行を行っていただきました。幹事の方々は、記念タオル作成やポスター掲示に御協力いただきました。総会は、吉野榮一様(全国石城会会長)のあいさつで始まり、その後、西川晃二校長から五高生の現況報告と各石城会支部への卒業生の出席を促すため、支部幹事を卒業時に決定するとの提案がありました。議事では、役員改選があり、長きに渡り副会長としてご尽力いただきました中村玲子様(高3)と山川悟様(高13)がご勇退され、新たに副会長としての野房子様(高14)、林田泰人様(定高23)が推薦され、会員の皆様から承認を受けました。懇親会は、藤原久郎様(長崎石城会会長)の乾杯の御発声で始まり、余興として、力強い川原ソーラン節の披露があり、出席された会員の皆様も食い入るようにその華麗な演舞を見ておられました。会の最後は、五中、五高女、五高の校歌斉唱の後、内海紀雄様(元東京石城会会長)の音頭で万歳三唱があり、24年度の石城会懇親会の幕を閉じました。



部活動結果報告

吹奏楽コンクール結果(7月24日)

五島高校吹奏楽部は、長崎県吹奏楽コンクールに出場し、銀賞を受賞しました。今年はアルカスSASEBO大ホールで審査が行われ、高等学校の部は2日間にわたり全51校が演奏を披露、結果は金賞15校・銀賞16校・銅賞20校でした。五島高校は大会初日の5番目で、課題曲Ⅱ：行進曲『喜びへ歩き出せ』、自由曲：『ノースウッドの力と情熱』の2曲を演奏しました。

7月22日の練習終了後に楽器をすべてトラックに積み込み、23日の朝1便フェリーで長崎へ渡りました。お昼からはNBCアープホールで練習をし、夜に武雄ユースホステルまで移動、翌朝は宿泊施設にて本番前の最終チェック、そしてアルカスに向かうというスケジュールで本番に臨みました。移動時間も長く、コンクール前の独特な緊張感も重なって一人ひとり体調管理が難しかったと思いますが、本番では持てる力をすべて出すことができました。

初心者・経験者を問わず、コンクール前にはほとんどの生徒が勉強との両立に悩み、そんな苦しい状況をお互いに励まし合うことで乗り越えてきました。このときの経験を思い出し、これからの行事を全力で成功させていきたいと思います。



第20回全国高等学校体育科・コース バスケットボール大会（8～9日）

8月8・9日に神戸で行われた全国大会に出場しました。新チームになり2ヶ月ほどでこのような大きい大会に出ることができ大変光栄でした。全国大会は1勝3敗で8位という結果で終わりました。普段は対戦できないような強いチームと試合をできたことはとても良い経験になりました。このような経験ができたのも、たくさんの人たちの支えがあったからです。これからも感謝の気持ちを忘れずに頑張っていきます。応援よろしくお願いします。

女子バスケットボール部主将 赤塚 詩織

全国高等学校総合体育大会陸上競技大会秩父宮賜杯 （7月31日～8月2日）

平成24年度全国高等学校総合体育大会「2012北信越かがやき総体」陸上競技大会に戸川祐華さんが出場しました。高校総体各県予選を通過した上位者6名が、北九州大会（長崎、福岡、佐賀、大分）における上位者6名のみ参加できる大会です。

全国大会に出場する選手の中で勝つことは容易なことではありませんが、戸川さんは素晴らしいスタートで、4台目まで先頭で走れたのは良い経験でした。保護者の皆様や地域の皆様、応援していただき本当にありがとうございます。

《結果》

種目	女子	100mH
予選	3組	15秒08 7位 予選敗退

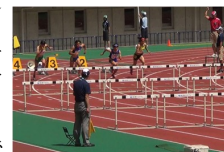
インターハイを終えて 陸上部 戸川祐華

私は、新潟県で開催された北信越かがやき総体陸上競技大会に参加しました。そして、この大会で貴重な経験をすることができ、多くのことに気づくことができました。

強いチーム・選手は、①あいさつや返事の声が大きく、行動も機敏で、次に何をするのか考えて行動していました。また、先生がいなくても同じように行動をしていました。②チームの団結力。一人ひとりがチームとして同じ目標を持ち、それに向かって支え合って行動をしていました。③常に周りを見て行動していました。

今の私にはこれらのことが、まだ徹底できていません。どこかにこれくらいいいだろうという気持ちがあるのだと思います。これからは自分ら限界を作らず、みんなで協力しながら一生懸命に努力していきます。

今回、インターハイに出場することができたのは、指導して下さった先生方、一緒に練習をしてきた陸上部の仲間達、陰で支えてくれた家族、そして応援して下さった地域や学校の方々のおかげです。今回のインターハイを経験することができ、さらに上を目指したいと思うことができました。ありがとうございました。



第34回全国高等学校小倉百人一首選 手権大会（7月27～28日）

7月27・28日と滋賀県大津市近江神宮で行われた大会に百人一首かるた部の8名が出場しました。

初日の27日は団体戦でした。予選リーグ1回戦洛南高校（京都）と対戦し、1－4で敗退しました。

二日目の28日は個人戦で、C級に4人、D級に4人出場しました。主な結果はD1級で西村知佳さん（3年）が4位入賞、D2級で江川楓さん（2年）が準優勝となりました。

まだまだ全国レベルに追いつくことは難しいですが、今回の入賞を励みに今後一層練習に励んでいきたいと思います。

保護者の皆様や地域の皆様、応援していただき本当にありがとうございました。

第36回全国高等学校総合文化祭（9～11日）

富山県で行われた全国高等学校総合文化祭小倉百人一首部門に本校から5名の生徒が参加しました。この大会には、5月に行われた県大会の上位8名が参加することになっており、本校の5名と青雲高校の3名で団体戦を戦うこととなりました。

大会の結果は、次のとおりです。

予選リーグ

1回戦	長崎0－5 広島	負
2回戦	長崎2－3 交流戦	負
3回戦	長崎1－4 島根	負

1勝を目標に試合に臨みましたが、勝つことができませんでした。

来年は長崎で全国高等学校総合文化祭が行われます。開催県として、運営はもちろんのこと競技面でも結果を残すことができるように、これから1年間練習に励んでまいります。

